

IV 小 売 業

1. 業 種 別

次に、小売業を産業小分類別にみますと、事業所数では、3,238 店（増減率 9.0%減）のうち、今回最も多かった業種は「その他の飲食料品」の 486 店（構成比 15.0%）でした。以下、「他に分類されない小売業」の 406 店（同 12.5%）、「医薬品・化粧品」の 269 店（同 8.3%）と続いています。なお、「各種食料品」から「その他の飲食料品」までの、主に飲食料品を販売する業種の商店が、全体の 4 割弱にあたる 1,187 店となっています。また、平成 16 年との比較では、全 28 業種中、22 業種で減少しており、「写真機・写真材料」の 57.1%減と、増加した業種では「男子服」の 14.8%増が目立ちます。（表 6、図 4 参照）

従業者数では、2万 3992 人（増減率 3.6%減）のうち、最も多かった業種は「その他の飲食料品」の 6,249 人（構成比 26.0%）でした。以下、「各種食料品」の 2,175 人（同 9.1%）、「医薬品・化粧品」の 1,839 人（同 7.7%）、「他に分類されない小売業」の 1,787 人（同 7.4%）、「書籍・文房具」の 1,590 人（同 6.6%）と続いています。事業所数と同様に、主に飲食料品を販売する業種で従業者の割合が高くなっており、全体の 46.9%（1万 1267 人）を占めています。（表 7、図 5 参照）

なお、従業者数を事業所数で除した商店 1 店当たりの従業者数は、平成 16 年の 6.99 人から 0.42 人増加して 7.41 人となりました。

図4 小売業、産業小分類別事業所数構成比

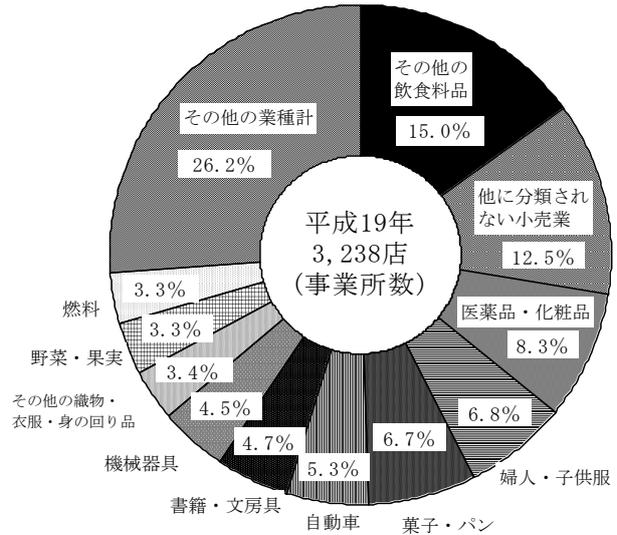


図5 小売業、産業小分類別従業者数構成比

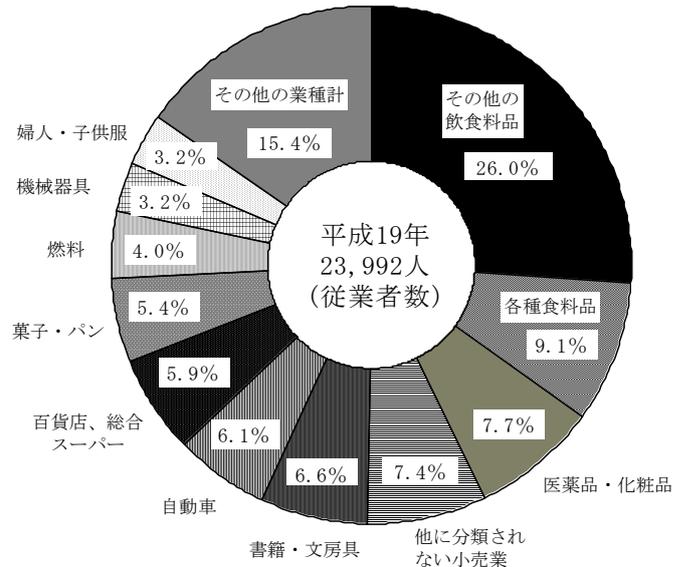


図6 小売業、産業小分類別年間商品販売額構成比

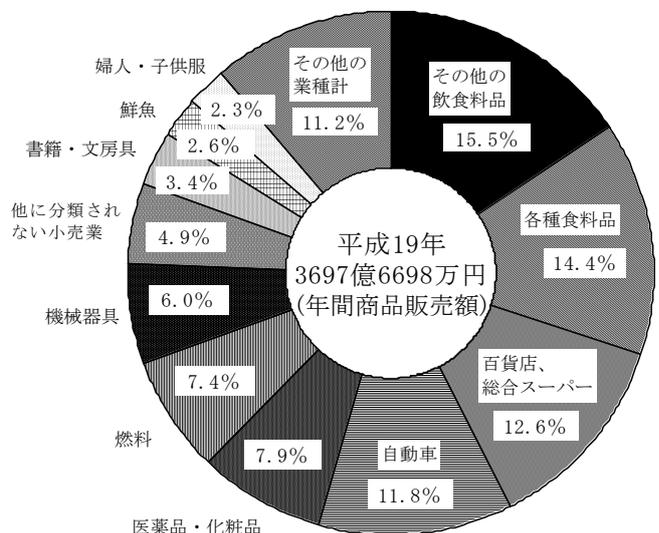


表6 小売業、産業小分類別事業所数の推移

産業小分類別	平成14年		平成16年		平成19年		
	事業所数	増減率	事業所数	増減率	事業所数	増減率	構成比
小 売 業 計	3,707	△ 10.4	3,560	△ 4.0	3,238	△ 9.0	100.0
551百貨店、総合スーパー	6	100.0	6	-	6	-	0.2
559その他の各種商品	6	△ 40.0	10	66.7	8	△ 20.0	0.2
561呉服・服地・寝具	70	△ 18.6	69	△ 1.4	55	△ 20.3	1.7
562男子服	70	△ 10.3	61	△ 12.9	70	14.8	2.2
563婦人・子供服	224	△ 18.2	220	△ 1.8	219	△ 0.5	6.8
564靴・履物	47	△ 19.0	41	△ 12.8	36	△ 12.2	1.1
569その他の織物・衣服・身の回り品	102	△ 18.4	104	2.0	109	4.8	3.4
571各種食料品	111	△ 35.8	124	11.7	104	△ 16.1	3.2
572酒	143	△ 13.9	130	△ 9.1	91	△ 30.0	2.8
573食肉	80	△ 7.0	69	△ 13.8	62	△ 10.1	1.9
574鮮魚	107	△ 11.6	91	△ 15.0	83	△ 8.8	2.6
575野菜・果実	149	△ 12.9	136	△ 8.7	107	△ 21.3	3.3
576菓子・パン	270	△ 9.7	268	△ 0.7	217	△ 19.0	6.7
577米穀類	58	△ 14.7	52	△ 10.3	37	△ 28.8	1.1
579その他の飲食料品	557	13.4	523	△ 6.1	486	△ 7.1	15.0
581自動車	193	△ 3.5	186	△ 3.6	172	△ 7.5	5.3
582自転車	16	△ 5.9	16	-	13	△ 18.8	0.4
591家具・建具・畳	89	△ 9.2	90	1.1	70	△ 22.2	2.2
592機械器具	163	△ 10.9	159	△ 2.5	146	△ 8.2	4.5
599その他のじゅう器	75	△ 3.8	71	△ 5.3	51	△ 28.2	1.6
601医薬品・化粧品	267	△ 2.6	266	△ 0.4	269	1.1	8.3
602農耕用品	16	6.7	12	△ 25.0	9	△ 25.0	0.3
603燃料	119	△ 8.5	119	-	107	△ 10.1	3.3
604書籍・文房具	166	△ 6.2	161	△ 3.0	153	△ 5.0	4.7
605スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器	134	△ 7.6	112	△ 16.4	89	△ 20.5	2.7
606写真機・写真材料	13	△ 18.8	7	△ 46.2	3	△ 57.1	0.1
607時計・眼鏡・光学機械	60	△ 4.8	59	△ 1.7	60	1.7	1.9
609他に分類されない小売業	396	△ 25.3	398	0.5	406	2.0	12.5

表7 小売業、産業小分類別従業者数の推移

産業小分類別	平成14年		平成16年		平成19年		
	従業者数	増減率	従業者数	増減率	従業者数	増減率	構成比
小 売 業 計	25,520	△ 3.2	24,879	△ 2.5	23,992	△ 3.6	100.0
551百貨店、総合スーパー	1,404	19.2	1,565	11.5	1,416	△ 9.5	5.9
559その他の各種商品	38	22.6	85	123.7	40	△ 52.9	0.2
561呉服・服地・寝具	257	△ 11.4	247	△ 3.9	194	△ 21.5	0.8
562男子服	285	△ 21.9	224	△ 21.4	247	10.3	1.0
563婦人・子供服	794	△ 35.6	737	△ 7.2	756	2.6	3.2
564靴・履物	186	△ 2.1	160	△ 14.0	160	0.0	0.7
569その他の織物・衣服・身の回り品	465	△ 15.3	468	0.6	551	17.7	2.3
571各種食料品	3,054	0.8	3,307	8.3	2,175	△ 34.2	9.1
572酒	581	△ 18.6	538	△ 7.4	301	△ 44.1	1.3
573食肉	328	△ 25.3	337	2.7	259	△ 23.1	1.1
574鮮魚	427	△ 22.5	380	△ 11.0	491	29.2	2.0
575野菜・果実	538	△ 4.3	475	△ 11.7	369	△ 22.3	1.5
576菓子・パン	1,306	△ 18.8	1,236	△ 5.4	1,302	5.3	5.4
577米穀類	155	△ 32.9	140	△ 9.7	121	△ 13.6	0.5
579その他の飲食品	5,629	10.1	5,345	△ 5.0	6,249	16.9	26.0
581自動車	1,485	△ 4.2	1,458	△ 1.8	1,454	△ 0.3	6.1
582自転車	26	△ 13.3	30	15.4	25	△ 16.7	0.1
591家具・建具・畳	308	△ 8.3	291	△ 5.5	183	△ 37.1	0.8
592機械器具	835	△ 6.9	861	3.1	766	△ 11.0	3.2
599その他のじゅう器	279	36.1	250	△ 10.4	137	△ 45.2	0.6
601医薬品・化粧品	1,586	3.5	1,427	△ 10.0	1,839	28.9	7.7
602農耕用品	39	△ 48.7	31	△ 20.5	36	16.1	0.2
603燃料	948	△ 20.7	1,052	11.0	960	△ 8.7	4.0
604書籍・文房具	1,925	△ 1.0	1,684	△ 12.5	1,590	△ 5.6	6.6
605スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器	738	40.3	441	△ 40.2	345	△ 21.8	1.4
606写真機・写真材料	38	△ 15.6	17	△ 55.3	6	△ 64.7	0.0
607時計・眼鏡・光学機械	239	△ 17.9	252	5.4	233	△ 7.5	1.0
609他に分類されない小売業	1,627	△ 1.8	1,841	13.2	1,787	△ 2.9	7.4

年間商品販売額では、3897億6698万円（増減率6.2%減）のうち、今回最も多かった業種は、「その他の飲食料品」の603億3338万円（構成比15.5%）でした。次いで、「各種食料品」の560億9758万円（同14.4%）、「百貨店・総合スーパー」の492億8108万円（同12.6%）となっています。この上位3業種の全体に占める割合は4割強となっています。（表8、図6参照）

なお、年間商品販売額を事業所数で除した1店舗当たりの年間商品販売額は、前回の1億1674万円より363万円増加した1億2037万円となりました。一方、年間商品販売額を従業者数で除した、従業者1人当たりの年間商品販売額は、前回の1,670万円より45万円減少して1,625万円となりました。

表8 小売業、産業小分類別年間商品販売額の推移

産業小分類別	平成14年		平成16年		平成19年		
	年間商品販売額	増減率	年間商品販売額	増減率	年間商品販売額	増減率	構成比
	万円	%	万円	%	万円	%	%
小 売 業 計	41,261,437	△ 3.8	41,559,055	0.7	38,976,698	△ 6.2	100.0
551百貨店、総合スーパー	6,042,436	26.7	5,683,790	△ 5.9	4,928,108	△ 13.3	12.6
559その他の各種商品	54,841	25.7	186,560	240.2	84,454	△ 54.7	0.2
561呉服・服地・寝具	283,527	△ 39.9	289,977	2.3	155,179	△ 46.5	0.4
562男子服	423,204	△ 29.9	316,968	△ 25.1	298,830	△ 5.7	0.8
563婦人・子供服	952,246	△ 48.0	741,764	△ 22.1	915,411	23.4	2.3
564靴・履物	224,980	△ 14.2	180,361	△ 19.8	264,167	46.5	0.7
569その他の織物・衣服・身の回り品	523,430	△ 14.0	546,563	4.4	610,695	11.7	1.6
571各種食料品	7,048,466	7.7	8,186,231	16.1	5,609,758	△ 31.5	14.4
572酒	1,203,376	△ 19.6	1,023,116	△ 15.0	494,197	△ 51.7	1.3
573食肉	318,557	△ 21.8	364,379	14.4	266,323	△ 26.9	0.7
574鮮魚	486,123	△ 37.4	560,237	15.2	1,011,443	80.5	2.6
575野菜・果実	513,636	△ 27.3	490,771	△ 4.5	354,437	△ 27.8	0.9
576菓子・パン	559,653	△ 30.5	603,629	7.9	498,406	△ 17.4	1.3
577米穀類	184,503	△ 45.5	151,945	△ 17.6	119,617	△ 21.3	0.3
579その他の飲食料品	4,909,895	△ 1.6	4,202,682	△ 14.4	6,033,338	43.6	15.5
581自動車	4,953,561	△ 6.3	5,404,134	9.1	4,604,123	△ 14.8	11.8
582自転車	12,039	△ 21.7	13,225	9.9	14,691	11.1	0.0
591家具・建具・畳	405,363	△ 27.3	329,776	△ 18.6	185,840	△ 43.6	0.5
592機械器具	1,838,685	△ 32.7	2,345,845	27.6	2,340,826	△ 0.2	6.0
599その他のじゅう器	317,974	73.9	220,664	△ 30.6	156,254	△ 29.2	0.4
601医薬品・化粧品	2,623,338	25.6	2,441,638	△ 6.9	3,062,578	25.4	7.9
602農耕用品	64,120	△ 66.0	40,839	△ 36.3	29,462	△ 27.9	0.1
603燃料	2,325,552	1.6	2,545,269	9.4	2,872,491	12.9	7.4
604書籍・文房具	1,342,001	△ 14.4	1,414,723	5.4	1,315,030	△ 7.0	3.4
605スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器	1,667,020	68.5	679,419	△ 59.2	546,217	△ 19.6	1.4
606写真機・写真材料	28,462	△ 42.5	10,250	△ 64.0	3,906	△ 61.9	0.0
607時計・眼鏡・光学機械	324,524	△ 15.4	341,686	5.3	281,301	△ 17.7	0.7
609他に分類されない小売業	1,629,925	△ 13.6	2,242,614	37.6	1,919,616	△ 14.4	4.9

2. 地 区 別

さらに、小売業を地区別にみますと、事業所数では、3,238店のうち「本庁」地区が市全体の3割強にあたる1,065店となっています。以下、「衣笠」地区の462店（構成比14.3%）、「久里浜」地区の389店（同12.0%）、「西」地区の336店（同10.4%）と続いています。

前回と比較しますと、全体で9.0%の減少となり、10地区すべてが減少しました。

年間商品販売額では、事業所数と同様にやはり「本庁」地区が市全体（3897億6698万円）の37.1%にあたる1444億3597万円と最も多くなっています。以下、「久里浜」地区の608億5870万円（構成比15.6%）、「衣笠」地区の536億4309万円（同13.8%）、「大津」地区の312億4945万円（同8.0%）と続いており、この4地区で全体の7割強を占めています。

平成16年との比較では、全体で6.2%の減少となり、10地区中、「浦賀」「北下浦」地区を除く8地区で減少しました。（表9参照）

表9 小売業、地区別事業所数及び年間商品販売額

地 区	事 業 所 数				年 間 商 品 販 売 額			
	平成16年	平成19年	増減率	構成比	平成16年	平成19年	増減率	構成比
	店	店	%	%	万円	万円	%	%
総 数	3,560	3,238	△ 9.0	100.0	41,559,055	38,976,698	△ 6.2	100.0
本 庁	1,140	1,065	△ 6.6	32.9	15,589,542	14,443,597	△ 7.4	37.1
追 浜	234	205	△ 12.4	6.3	2,113,570	1,767,293	△ 16.4	4.5
田 浦	143	120	△ 16.1	3.7	691,249	681,844	△ 1.4	1.7
逸 見	95	79	△ 16.8	2.4	443,993	374,006	△ 15.8	1.0
衣 笠	516	462	△ 10.5	14.3	5,375,029	5,364,309	△ 0.2	13.8
大 津	267	231	△ 13.5	7.1	3,748,397	3,124,945	△ 16.6	8.0
浦 賀	214	194	△ 9.3	6.0	1,724,147	1,841,534	6.8	4.7
久 里 浜	414	389	△ 6.0	12.0	6,251,435	6,085,870	△ 2.6	15.6
北 下 浦	181	157	△ 13.3	4.8	2,069,523	2,105,191	1.7	5.4
西	356	336	△ 5.6	10.4	3,552,170	3,188,109	△ 10.2	8.2

3. 購買力

次に、購買力（年間商品販売額の地区別構成比を人口の地区別構成比で除したもの）を地域類型（表10 脚注参照）でみますと、神奈川県全体からみた本市の購買力は0.96で、地域類型はB（独立商圏地域）でした。本市の10地区をみますと、「本庁」地区（購買力2.39）、「久里浜」地区（購買力1.21）がA（購買力吸収地域）、他の8地区はC（購買力流出地域）となっています。Cの地区の中では、「逸見」地区（同0.33）と「田浦」地区（同0.37）と「浦賀」地区（購買力0.39）の購買力が低くなっています。また、地域類型は、10地区とも平成16年と変わりありませんでした。（表10、11参照）

表10 小売業、産業小分類別年間商品販売額の推移

地区	小 売 業（平成19年）				人 口		購買力 ア/イ	地域 類型 注)	参 考 (平成16年 購買力)
	事業 所数	年間商品 販売額	構成比 ア	1店当たり 商品販売額	平成19年6月1日 現在推計人口	構成比 イ			
総 数	店 3,238	万円 38,976,698	% 100.0	万円 12,037	人 423,516	% 100.0	※0.96	※B	※1.00B
本 庁	1,065	14,443,597	37.1	13,562	65,554	15.5	2.39	A	2.34A
追 浜	205	1,767,293	4.5	8,621	30,177	7.1	0.64	C	0.73C
田 浦	120	681,844	1.7	5,682	20,220	4.8	0.37	C	0.36C
逸 見	79	374,006	1.0	4,734	12,331	2.9	0.33	C	0.37C
衣 笠	462	5,364,309	13.8	11,611	62,876	14.8	0.93	C	0.85C
大 津	231	3,124,945	8.0	13,528	42,899	10.1	0.79	C	0.90C
浦 賀	194	1,841,534	4.7	9,492	51,206	12.1	0.39	C	0.34C
久 里 浜	389	6,085,870	15.6	15,645	54,821	12.9	1.21	A	1.18A
北 下 浦	157	2,105,191	5.4	13,409	35,623	8.4	0.64	C	0.61C
西	336	3,188,109	8.2	9,488	47,809	11.3	0.72	C	0.77C

注) 地域類型は、次のとおりに定めています。

- A 購買力吸収地域：小売業販売額地区別構成比／人口地区別構成比が1.05以上の地域
- B 独立商圏地域：〃 が0.95以上1.05未満の地域
- C 購買力流出地域：〃 が0.95未満の地域

なお、※印は神奈川県全体からみた横須賀市の地域類型です。

表 11 神奈川県下市区町村別小売業事業所数、人口 1,000 人当たりの事業所数、年間商品販売額及び購買力

市区町村別	事業所数		人口		人口1,000人 当たり事業所数		年間商品販売額		購買力	
	店舗数	構成比	平成19年6月1日 現在推計人口	構成比	平成 16年	平成 19年	年間商品販売額	構成比	平成16年 (地域類型)	平成19年 (地域類型)
神奈川県計	54,892	100.0	8,887,150	100.0	6.8	6.2	8,548,105	100.0	—	—
市 計	52,470	95.6	8,582,268	96.6	6.8	6.1	8,309,627	97.2	1.01(B)	1.01(B)
横浜市	20,398	37.2	3,622,168	40.8	6.2	5.6	3,719,410	43.5	1.06(A)	1.07(A)
鶴見区	1,618	2.9	267,571	3.0	7.0	6.0	194,828	2.3	0.75(C)	0.76(C)
神奈川区	1,412	2.6	224,823	2.5	7.0	6.3	167,798	2.0	0.84(C)	0.78(C)
西区	1,583	2.9	86,383	1.0	18.9	18.3	661,108	7.7	7.24(A)	7.96(A)
中区	2,079	3.8	142,538	1.6	18.0	14.6	276,506	3.2	2.14(A)	2.02(A)
南区	1,248	2.3	196,210	2.2	7.1	6.4	107,697	1.3	0.58(C)	0.57(C)
保土ヶ谷区	966	1.8	204,738	2.3	5.4	4.7	115,812	1.4	0.59(C)	0.59(C)
磯子区	801	1.5	164,282	1.8	5.6	4.9	101,521	1.2	0.70(C)	0.64(C)
金沢区	1,073	2.0	211,661	2.4	5.6	5.1	179,476	2.1	0.89(C)	0.88(C)
港北区	1,554	2.8	319,855	3.6	5.5	4.9	299,358	3.5	0.89(C)	0.97(B)
戸塚区	1,037	1.9	269,319	3.0	4.3	3.9	213,506	2.5	0.90(C)	0.82(C)
港南区	1,131	2.1	222,040	2.5	5.3	5.1	279,415	3.3	1.25(A)	1.31(A)
旭区	1,032	1.9	248,334	2.8	4.8	4.2	157,000	1.8	0.71(C)	0.66(C)
緑区	734	1.3	173,339	2.0	4.4	4.2	123,567	1.4	0.70(C)	0.74(C)
瀬谷区	652	1.2	127,173	1.4	5.7	5.1	98,975	1.2	0.76(C)	0.81(C)
栄区	377	0.7	124,696	1.4	3.7	3.0	69,246	0.8	0.86(C)	0.58(C)
泉区	616	1.1	153,887	1.7	4.4	4.0	113,774	1.3	0.65(C)	0.77(C)
青葉区	1,249	2.3	300,120	3.4	4.5	4.2	289,272	3.4	0.99(B)	1.00(B)
都筑区	1,236	2.3	185,199	2.1	5.4	6.7	270,551	3.2	1.54(A)	1.52(A)
川崎市	7,476	13.6	1,363,819	15.3	6.4	5.5	1,165,892	13.6	0.90(C)	0.89(C)
川崎区	1,975	3.6	210,138	2.4	11.3	9.4	331,298	3.9	1.48(A)	1.64(A)
幸区	1,022	1.9	146,282	1.6	6.9	7.0	128,383	1.5	0.71(C)	0.91(C)
中原区	1,355	2.5	218,830	2.5	7.8	6.2	146,157	1.7	0.78(C)	0.69(C)
高津区	861	1.6	209,778	2.4	5.2	4.1	171,963	2.0	0.95(B)	0.85(C)
多摩区	977	1.8	207,073	2.3	5.3	4.7	121,918	1.4	0.67(C)	0.61(C)
宮前区	669	1.2	211,107	2.4	3.6	3.2	163,003	1.9	0.86(C)	0.80(C)
麻生区	617	1.1	160,611	1.8	4.5	3.8	103,169	1.2	0.80(C)	0.67(C)
横須賀市	3,238	5.9	423,516	4.8	8.3	7.6	389,767	4.6	1.00(B)	0.96(B)
平塚市	1,973	3.6	260,406	2.9	8.1	7.6	267,780	3.1	1.01(B)	1.07(A)
鎌倉市	1,679	3.1	173,228	1.9	11.0	9.7	177,959	2.1	1.01(B)	1.07(A)
藤沢市	2,744	5.0	401,235	4.5	7.4	6.8	417,841	4.9	1.19(A)	1.08(A)

表 11 (つづき)

市区町村別	事業所数		人口		人口1,000人 当たり事業所数		年間商品販売額		購買力	
	店舗数	構成比	平成19年6月1日 現在推計人口	構成比	平成 16年	平成 19年	年間商品販売額	構成比	平成16年 (地域類型)	平成19年 (地域類型)
	店	%	人	%	店	店	百万円	%		
小田原市	2,016	3.7	198,930	2.2	10.8	10.1	243,612	2.8	1.29(A)	1.27(A)
茅ヶ崎市	1,378	2.5	229,972	2.6	6.7	6.0	163,303	1.9	0.73(C)	0.74(C)
逗子市	433	0.8	58,552	0.7	8.0	7.4	40,221	0.5	0.76(C)	0.71(C)
相模原市 ^{注)}	4,076	7.4	705,141	7.9	6.3	5.8	613,231	7.2	0.92(C)	0.90(C)
三浦市	435	0.8	49,424	0.6	9.9	8.8	34,133	0.4	0.77(C)	0.72(C)
秦野市	1,084	2.0	168,854	1.9	7.2	6.4	144,641	1.7	0.92(C)	0.89(C)
厚木市	1,549	2.8	224,367	2.5	7.9	6.9	280,082	3.3	1.32(A)	1.30(A)
大和市	1,434	2.6	222,940	2.5	7.2	6.4	229,483	2.7	1.06(A)	1.07(A)
伊勢原市	688	1.3	100,767	1.1	7.3	6.8	97,860	1.1	0.92(C)	1.01(B)
海老名市	662	1.2	125,442	1.4	5.8	5.3	142,249	1.7	1.03(B)	1.18(A)
座間市	563	1.0	127,582	1.4	4.9	4.4	97,952	1.1	0.74(C)	0.80(C)
南足柄市	267	0.5	44,196	0.5	6.7	6.0	24,047	0.3	0.63(C)	0.57(C)
綾瀬市	377	0.7	81,729	0.9	4.4	4.6	60,164	0.7	0.72(C)	0.77(C)
町村計	2,422	4.4	304,882	3.4	8.3	7.9	238,477	2.8	0.77(C)	0.81(C)
葉山町	192	0.3	31,828	0.4	6.5	6.0	18,968	0.2	0.54(C)	0.62(C)
寒川町	288	0.5	47,500	0.5	6.7	6.1	29,721	0.3	0.73(C)	0.65(C)
大磯町	243	0.4	32,732	0.4	8.3	7.4	22,747	0.3	0.77(C)	0.72(C)
二宮町	255	0.5	29,797	0.3	9.0	8.6	19,863	0.2	0.63(C)	0.69(C)
中井町	59	0.1	10,062	0.1	5.8	5.9	9,539	0.1	0.53(C)	0.99(B)
大井町	129	0.2	17,776	0.2	7.0	7.3	22,955	0.3	1.34(A)	1.34(A)
松田町	119	0.2	12,019	0.1	10.6	9.9	7,274	0.1	0.63(C)	0.63(C)
山北町	113	0.2	12,281	0.1	9.6	9.2	6,671	0.1	0.46(C)	0.56(C)
開成町	125	0.2	15,916	0.2	9.0	7.9	15,112	0.2	1.02(B)	0.99(B)
箱根町	239	0.4	13,881	0.2	18.1	17.2	19,231	0.2	1.28(A)	1.44(A)
真鶴町	84	0.2	8,530	0.1	11.0	9.8	4,037	0.0	0.42(C)	0.49(C)
湯河原町	297	0.5	27,131	0.3	12.1	10.9	27,201	0.3	1.17(A)	1.04(B)
愛川町	256	0.5	41,901	0.5	6.5	6.1	34,310	0.4	0.81(C)	0.85(C)
清川村	23	0.0	3,528	0.0	7.8	6.5	848	0.0	0.29(C)	0.25(C)

注) 前回調査(平成16年)以降で、相模原市と旧津久井郡において市町村合併がありましたので、前回調査の相模原市には、旧津久井郡の数値が加算されています。